

時間外勤務の削減なるか？

～報奨金支給で早朝勤務を後押しする伊藤忠商事

9月27日付の宮崎日日新聞に、10月から時間外勤務削減に向け新たな制度をスタートさせる伊藤忠商事の取り組みが取り上げられています。具体的には、一斉消灯により夜10時以降の深夜残業を禁止とし、その代わりに始業時間前の時間外勤務を奨励しようというもの。

やむなく残業の必要があれば早朝勤務となりますが、早朝の時間外勤務には報奨金が支払われるため、社員の減収となることはないようです。同社人事・総務部は「深夜残業は疲れに加え、時間の区切りがなくて非効率的になりがち。早朝なら効率よく仕事ができ、家庭との両立を目指す女性社員も支えられる」と期待しています。

「一日の仕事を前倒し、あるいは翌朝にして、定時には帰宅する」という勤務計画ができれば、充実したプライベートの実現にもつながり、働き方そのものの見直しにもつながるのではないのでしょうか。時間外勤務の削減に向けて、「ノー残業デー」などに取り組む事業所も多くありますが、各企業の現状や課題を踏まえた新しい発想による取り組みがより働きやすい社会への第一歩になるよう期待したいものです。

「医学部学生向けセミナー・交流会」開催のお知らせ

来月、本学附属病院と宮崎県医師会との共催により医師を目指す学生や研修医を対象としたセミナーを開催します。このセミナーでは、附属病院の各診療科や県内の基幹型臨床研修病院の医師らがそれぞれの概要や特徴をプレゼンテーション形式で発表します。昨年度も開催し多くの参加を得ましたが、今年は前回以上に多くの診療科・病院等からの参加・協力が予定されています。後半には、参加者全員による交流会も開催しますので、関心のある学生・関係者の方はぜひご参加ください！！

「初期研修から総合医／専門医を目指して～各診療科・基幹型病院の情報をチェック」

日時：平成25年11月28日（木）17:30～19:50（受付17:00～）

場所：清武キャンパス 総合教育研究棟1階 プレゼンテーションホール

■ E s s a y

「癒しの時間」

施設環境部 施設整備課 次長 尾崎 光芳 さん

私の家族は、妻と九歳の息子、愛犬一匹の四人？です。今年の三月から新居での生活がスタートしました。去年から家探しを始めたきっかけは、家族のトイプードルを飼いたいという願いからでした。

そして、やっと生活が落ち着き始めた五月からペットショップを巡り始めました。縁？があったのか、私と同じ名前のペットショップでかわいいトイプードルの子犬に巡り合いました。妻と息子は「買いなさい！」と目力で訴えてきます。その日に購入の予約を入れて愛犬の命名会議です。いろいろ名前が挙がったのですが、最後は息子がどうしても折れずに「トイちゃん」になりました。引越す前から本人は決めていたようです。そのまんまと思われませんが、最近ではとてもしつくりきています。

他の犬と違って我が家のトイちゃんは、少しだけ舌を出すのが特徴です。その姿がとてかわいく、疲れて帰ってくるとしっぽを振りながら出迎えてくれるトイちゃん、最初はあまり乗り気でなかった私が今は一番癒やされています。

これからも癒やされながら、四人で賑やかに過ごしていければいいなと思います。



男女共同参画、 この人に聞く

このコーナーでは、インタビューを通じて、本学における男女共同参画の現状と展望を探ります。今回は、産学・地域連携センターの堀井洋一郎センター長にご登場いただきました。
(聞き手：伊達紫
清花アテナ男女共同参画推進室長)



「産学・地域連携センターの役割やセンター長としての考えをお聞かせください。」
当センターは、本学の教育・研究成果を社会貢献に生かすことを目的に設置され、現在は産学連携・地域連携・知的財産・機器分析支援の4部門で幅広い業務を担っています。私がセンター長に就任して2年半になりますが、最近では学生への教育について特に課題を感じる人が多いですね。一般的に「大学の教育は質が高い」と言われていますが、「よい教育」を提供するだけでは物事の本質をとらえられない学生を育てることはできないのではないかと感じています。だからこそ、戦略的に人材育成に重点を置き、地域や社会とつながりながら学生を育てていく必要があると思うようになりました。

「このほど本学が採択された文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」ではまさにそのような人材育成が実現できるのではないのでしょうか？」



「本学において男女共同参画を推進する上でのアドバイス、お考えがあればお願いします。」

おっしゃる通りです。大学は、企業などアクティビティの高い機関との連携がまだまだ苦手かな、という印象があります。大学COC事業は、大学の基礎教育だけでは実現できないより実践的な教育を、社会や地域との関わり・連携を通して具体化していくというものです。企業などと連携することで、自分の能力を生かしながら社会にも貢献できる：そんな応用力のある人材を育成することができると期待しているところです。具体的には、地域の課題を提供したアクティブラーニングを取り入れながら、学部を超えた柔軟なカリキュラムを実現したいと考えています。

今回採択されたテーマは「食と健康を基軸とした宮崎地域志向型一貫教育による人材育成」です。農業も重要なキーワードになってきますが、「ものを作る・消費する」という意味では女性の存在・活躍がカギを握っていると思っています。本学が企業や社会にとって魅力的な存在になればと願っています。



私は獣医学科に所属していますが、女子学生はかなり高い割合で推移しています。卒業後も緻密なプランニングや丁寧な説明で現場での評価も高いのですが、やはりキャリアの途中で退職してしまう女性が多いのが残念だと思っています。

今の世の中、「多様性を受け入れる」ということではなく、「多様性を利用する」というぐらいの姿勢がないとうまくいかないのではないのでしょうか？そういう意味では、まず、性別に関係なく、個人に対して「この人は利用できる」価値がある」という評価を付けることができる社会にならなければなりません。子育て中の女性に対して「女性を助ける」という意識ではなく、「この人の価値を生かさないともったいない」「この人が力を発揮できるよう仕事をシェアしよう」という発想ができる、おのずと個人の能力が社会で生きてくるのではないのでしょうか。お互いの多様性を踏まえ、価値観を共有できるチームや社会をマネジメントするのがリーダーの重要な役割だと思います。

(平成25年10月9日、産学・地域連携センターにて)

◇あてなのらくがき◇このコーナーでは推進室で起こった出来事や話題を少しだけ紹介します

基本計画の推進へ向けて…ワーキンググループ始動！

今年4月に策定した「男女共同参画基本計画」をしっかりと実現させよう！という趣旨のもと、男女共同参画基本計画推進ワーキンググループを設置し、9月中旬に第1回目の会議を行いました。今年度は女性教員比率の向上について特に議論する予定です。ご協力いただくメンバーの皆さん、よろしくお願いいたします！！



宮大ハッピースローガン

隣の人の気持ち、考えてみませんか？「ありがとう」の気持ち、言葉にしてみませんか？

